

後期基本計画 令和 2年度 施策方針評価書

政 策： 05 学びにより充実した人生を送ることができるまち

基本施策： 05 学びの環境の充実と文化芸術の継承

施 策： 01 学べる・活かせる環境づくり

施策担当職・氏名	文化振興課 総括主査 横澤 美保子
-----------------	-------------------

1. 施策の令和 2年度までの実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	・	利用者の求める資料を確実に提供できる図書館を目指し、生涯学習の基礎となる蔵書の充実、リクエストにも対応し蔵書の更新に努めます。
	・	暮らしの中の疑問が解決できる図書館として、調査研究の補助（レファレンスサービス）の周知をし、図書館の利用促進を図ります。
	・	滝沢市の過去、現在を知り、未来を考えていくことのできる図書館として、滝沢の歴史に関する資料や情報の収集に努めます。
	・	生涯にわたって自ら学習できる施設とし利用しやすい図書館を目指し、図書館職員研修の強化を図ります。
	・	複合交流施設との情報共有や事業連携による学べる環境の充実に努めます。

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合 <u>単 位</u> %	29.2	27	28	29	31	31	B
			30.3	30.7	-	-	-	83.3
	<u>単 位</u>							
	<u>単 位</u>							

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
1	816 図書館管理運営事業 図書の出借冊数 <u>単 位</u> 冊	目標値	110,000	120,000	130,000	130,000	130,000	130,000
		実績	159,797	155,718	151,788	129,379	-	-
	<u>単 位</u>	目標値						
		実績						
	<u>単 位</u>	目標値						
		実績						
	<u>単 位</u>	目標値						
		実績						

後期基本計画 令和 2年度 施策方針評価書

政 策 : 05 学びにより充実した人生を送ることができるまち

基本施策 : 05 学びの環境の充実と文化芸術の継承

施 策 : 01 学べる・活かせる環境づくり

施策担当職・氏名 文化振興課 総括主査 横澤 美保子

2. 施策の実現に向けての令和 2年度までの取り組み状況を分析する

(1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料や大活字本、リクエスト図書への対応など、生涯学習の基礎となる幅広い蔵書の充実に努めました。 市民調査研究の補助（レファレンスサービス）を実施し、図書館の利用促進を図りました。 滝沢市の過去、現在を知り、未来を考えていくことのできる図書館として、郷土資料の収集に努めました。 接遇や図書館業務に関する内部研修を実施し、図書館職員研修の強化を図りました。 感染拡大に伴う臨時休館時の対応や、イベント開催時や施設全体としての感染症対策など、複合交流施設との情報共有や連携協力により市民が安全に学べる環境の提供に努めました。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 2年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
	<p>【重点課題】</p> <p>利用しやすい施設を考慮し図書館の利用促進を図るとともに、郷土を知るための郷土資料の充実と職員研修の強化に努め、複合交流施設との情報共有・事業連携などを図りながら、一人一人が学べる環境の充実に努めます。</p> <p>【重点課題に対応した達成状況】</p> <p>幅広い蔵書の充実や市民の調べ学習の支援、複合交流施設全体としての感染症対策の連携により、安全に学べる環境の提供に努めました。</p>

3. 施策の実現に向けての令和 2年度実施後での変化を認識する

(1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンの普及による、主に若者の読書離れ 新型コロナウイルス感染症の影響による利用自粛傾向 電子図書サービス、改正著作権法の動向

(2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
	基本施策達成のため、引き続き同一内容の実施が必要であるため、見直しの必要はありません。

4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 4年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

A	課題なし
	<p>【今後の方向性】</p> <p>引き続き利用しやすい図書館利用の促進と、一人一人が学べる環境の充実に向け、利用者のニーズを捉えた蔵書の充実と市民の学習支援に関する取り組みを進めます。</p> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館利用者数の向上 移動図書館者による図書館遠隔地へのサービス維持 図書ボランティアの育成 電子図書、改正著作権法の動向

